

いづみだより 06年1月号

● 今月のテーマ 家について。

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧にあずかり、厚くお礼申し上げます。お陰さまをもちまして無事新年を迎えさせていただくことができました。私達は、本年も「人々がよろこびを感じるまちづくり」に寄与することを目指し、一日一日の事業活動に精励して参る所存です。新年を迎え、皆様のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げますとともに一層のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

年頭のご挨拶

「低価格」か「高品質」か、「低公害」か「高性能」かどちらを選択したら良いのか。

両方選択して高い次元で両立させたのがトヨタのプリウス。仕事の必要性に駆られて低価格の片方のみを選択し一時の繁栄を手にし、大社会問題を起こしているのが姉歯氏の耐震偽造問題。

膨大な研究を重ねプリウスを発売したトヨタは、今やその技術を全世界に提供する世界一の自動車メーカー。20世紀末の1997年、発売当初700万円超のコストが掛かるといわれた車をトヨタの当時の奥田社長は「21世紀に向けて「ゴー」という思いを込めて215万円での発売を決断したと言います。

ほとんどの人にとって人生最大の買い物になる商品を提供しているいづみ建設は7000万円のお家を2150万円で売るにはちよつと及びませんが、頭と時間を使ってより良い住環境を皆様に提供できるよう「andの才能」を今年も鍛えて行きます。

代表取締役 大塚 崇

金運は玄関から!

今年は金運を上げる玄関にしてみませんか。

玄関のドアを毎日ピカピカにして金属部分は光らせておき、土間は水拭きすると幸運度がアップします。照明は明るく、十分な光度があるようにしておきましょう。その他のインテリアは表を参照してください、玄関の方位別です。

| 北西 | 西 | 西 | 南 | 東南 | 東 | 東北 | 北 |
|--------------|------------|-----------|---------------------|------------|-----------|----------------------|-------------------|
| 七福神の置物やお守り | 金銀製や石目の丸い鏡 | 土まのの器 | 純石のオブジェ(グリーンや紫、白い色) | 飾りの良い物、木目の | ポプリや芳香剤など | 車や音楽、美術に関する物、ドアに金色の飾 | ワイルドな植物や台の上にフロンズ風 |
| ベージュ系やモスグリーン | いたもの | 茶色やバイオレット | グリーンや花柄 | 花柄かスロラ | 派手な花柄 | 白系かクリー | 白やピンク、オレンジの花柄 |
| 可憐な夜景 | 色の花の絵 | 風景 | 龍の図柄 | 花の絵 | 朝日の絵 | 山や少年 | 明るい花の絵 |
| 観葉植物 | 花瓶は青 | 観葉植物 | 土のに入った観葉植物 | 飾りのいいもの | 赤い花 | 花 | ピンクかオレンジ色 |

家の手入れまめ知識コーナー

○シールを上手にはがす知恵袋・裏技

張り付いたシールやセロハンテープは角をつめで軽くはがし、ドライヤーの温風を当ててみてください。

スムーズに取れて、後も残りません。

それでも取れないときは、冷めてからもう一度やってみてください。食器に付いたシールは除光液でこすってみてください。

○電子レンジの掃除の知恵袋・裏技

耐熱容器に入れた水をレンジでチンしてみてください。内側に蒸気が溜まり、汚れが落ちやすくなりますよ。その後はフキン等でちゃんとふき取りましょうね。



○畳の黄ばみを防ぐ知恵袋・裏技
お酢をしみこませた雑巾で拭き掃除をすると、黄ばみを防げますよ。雑菌効果もあるので一石二鳥。

家のまめ知識コーナー

関東間、関西間

関東間、関西間って聞いたことありますか？

これは寸法を取る位置が違うんです。関東間は柱の中心から中心、「せせこ」の寸法取り。関西間は柱の内側から内側で「内内」の寸法取り。したがって畳の大きさが関東間と関西間では若干違ってきます。関西間の方が少し大きくなります。いわゆるメートルモジュールの家に使われている畳はこの関西間用のものです。



見学したい家

家をたてようとする敷地には色々な形や大きさが考えられる。多くの人たちは正方形の広い敷地を求める。でも、一つ見方の視点を変えればこんな形の狭い敷地でも家を建てることは出来る。そして想像以上の機能も満たした家が。

左の写真を見ていただきたい。なんとも薄い建物である。只、外観から推測できるのは内部がかなり機能的な造りであることが分かる。多分、住人は最初はかなり戸惑ったと思う、しかし、住むうちに狭い空間が機能的に優れた一面を持っていることに気づくのではないだろうか。でも、そうした家にするには高度の空間設計能力を持つ設計者が必要とされるとともに、依頼者の生活空間に対する先進的価値観が必要とされるでしょう。一度内部を見学したいなあ、と通る度に思う家です。

是非、見学させて!



編集担当 大塚 崇

発行 いづみ建設株式会社

発行日 平成十七年十二月二十七日

〒36103 熊谷市円光一-1-133

電話 048(521)3313

info@izumi-kensetsu.co.jp

